

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
心理学		必修	2	1.2	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	金曜日 12:10~13:00			
授業の目的・概要	<p><目的>コミュニケーションを理解するうえで重要となる心理学の基礎知識を学ぶ。人のこころのしくみを手がかりに、「なぜ自分はどうなるのか」「なぜ他者はそのよう行動するのか」という背景を理解し、「自分の扱い方」と「人との関わり方」を具体的に考察することを目的とする。</p> <p><概要>同時双方向授業（遠隔授業）で展開する。心理学の各領域を概観し、自己理解や他者理解に応用できるよう具体例を交えて解説する。Teams の課題機能を用いたワーク等を用いて、受講生同士の意見交換の機会を設けながら理解を深める。</p>					
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク					
学習上の助言	ワークへの回答や指名による発言を求めながら進めるため、積極的に参与してほしい。講義内容に関する疑問が生じた場合にはそのままにせず、講義中の質問やリアクションペーパー、オフィスアワー等を活用し、理解を深めてほしい。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料 (PDF ファイル) を配付する。					
参考書	ゼロからはじめる心理学・入門 人の心を知る科学 改訂版/著:金沢創、市川寛子、作田由衣子/有斐閣/2025 年					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	心理学の諸分野の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。			HSU (2)		
②	本講義で習得した知識を自分の経験と結びつけ、自分の思考や感情、行動の特徴を理解し、適切に対処することができる。			HSU (1)、(2)、(5)		
③	本講義で習得した知識をもとに、他者の行動や感情の背景に目を向け、適切な人との関わり方を考えることができる。			HSU (1)、(2)、(6)		
④						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション -自分と他者を理解するための「心理学」とは？	同時双方向型授業	これまでの自分の体験を振り返り、講義内容と合致する現象を見つける。 配布資料をもとに講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。			
2	“見えている自分”を疑う -みんなが同じ世界を見ているとは限らない	同時双方向型授業				4
3	“忘れる自分”とうまく付き合うには？ -忘れるのは普通。でも、記憶は工夫で変えられる	同時双方向型授業				4
4	“ついやってしまう自分”はどう作られる？ -行動は、結果によって左右される	同時双方向型授業				4
5	“この香りを嗅ぐとあの人を思い出しちゃう自分”の正体 -気づかないうちに、好きも嫌いも作られている	同時双方向型授業				4
6	“やる気が出ない自分”は変えられる？ -やる気は待つものではなく、作るもの	同時双方向型授業				4
7	“気持ちに振り回される自分”を知る -気持ちは、世界の見え方すら変えてしまう	同時双方向型授業				4
8	“自分の性格”を測ってみると何がわかる？ -「当たっている」で終わらせない自己理解へ	同時双方向型授業				4
9	“今の自分”はどうやって作られてきたの？ -人生には、その時期ごとの課題がある	同時双方向型授業				4
10	“周りに流される自分”のしくみ -一人のときと周りに人がいるときでは、行動が変わる	同時双方向型授業				4
11	“都合よく考えてしまう自分”のしくみ -人は、「正しい」よりも「納得できる」を選びがち	同時双方向型授業				4
12	“本音を守る自分”と“安心して自分を出せる関係” -人は、傷つけないために本音を隠す。では、どう関わる？	同時双方向型授業				4
13	“自分の扱い方”を知る① -「自分をうまく動かす方法」を知ると、少しラクになる	同時双方向型授業				4
14	“自分の扱い方”を知る② -「自分の考え方のクセ」を知ると、少しラクになる	同時双方向型授業				4
15	これまでの学習の総括を行う。	同時双方向型授業				4

【2026 年度/教養科目領域/学術科目群】

試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。		
---	---------------------------	--	--

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		55	0	0	0	45	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	0	0	0	5	45
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	20	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		5	0	0	0	5	10

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する(55点満点)。 定期試験では、心理学の専門用語について問う選択問題と、講義で扱った心理学の知識をもとに自らの考えをまとめる論述問題を出题する。	Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	各回講義後に、Teams の課題機能を用いてリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する考察や気づきが具体的に記述されているかを評価する(全15回、各3点満点で計45点満点)。	締め切り後、評価点を付して返却する。 リアクションペーパーで受けた質問については、講義中にフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 本授業では、各回、ワークやアンケートへの回答、指名による発言などを通して授業への参加を求める。これらに回答がない、または指名時に反応が確認できない場合には、授業への参加が確認できないものとして、欠席・遅刻・早退のいずれかとして扱うことがある。やむを得ない事情がある場合には、速やかに科目担当教員へ相談すること。 自らの考えを記述する課題(ワーク、リアクションペーパー、筆記試験の論述問題等)において、生成AIの出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は評価の対象外とする。 Teams を用いた同時双方向型の遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。